

SUS製防振継手施工要領書

A・V・JOINT



施工手順

1. 作業前の確認

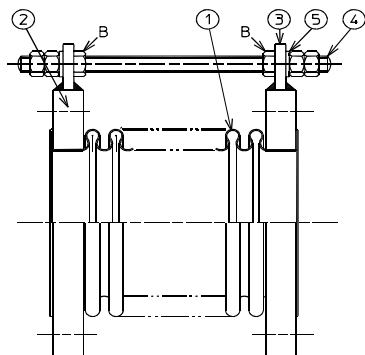
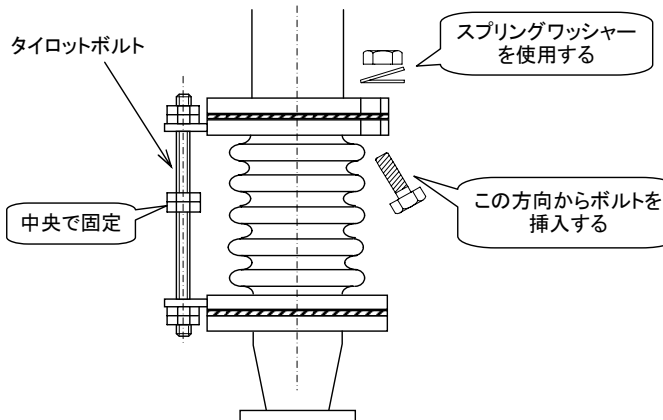


表1 部品表

品番	部品名	材質
1	ベローズ	外層SUS304 内層SUS316L
2	フランジ	SS400
3	ホルダー	SS400
4	タイロッドボルト	SS400
5	緩衝材	ウレタンゴム

口径、長さが適正か
シール面に損傷が無い
ベローズ内外面に損傷が無い

2. 配管への取り付け



ガスケットをシール面からずらさないように、またシール面を傷つけないよう製品を配管フランジ間にセットして下さい。
※ 全面ガスケットを推奨します。

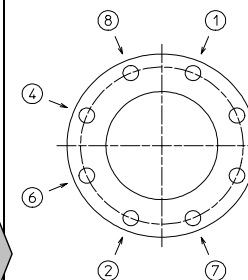
② 製品側から配管側へ向かって、ボルトを挿入して下さい。また、ナットの緩みを防止するため、スプリングワッシャーを使用して下さい。

③ ホルダー内側のナットは、中央で固定して下さい。

⚠ タイロッドボルトは取り外さないで下さい。

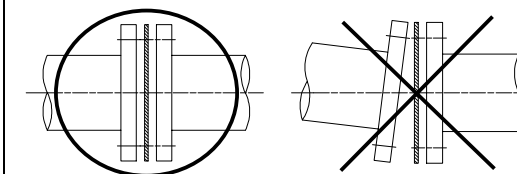
3. ボルトの締め付け

ボルト締め付け順

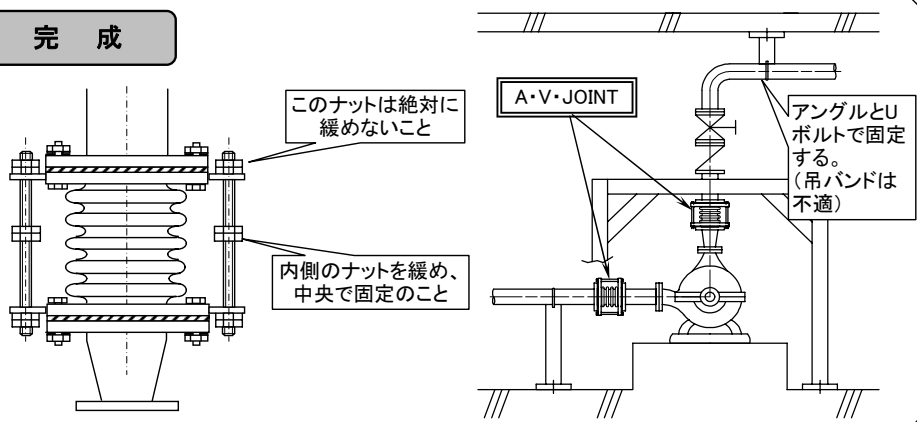


- ① ボルトは対角線に均等に締め付けて下さい。
- ② 反対側のフランジも同様に締め付けて下さい。
- ③ SUS製ボルト・ナットを使用する場合は、ねじ部に焼付け防止剤を塗布して下さい。

⚠ フランジ面が平行である事を確認の上、締め付けて下さい。



完成



⚠ 注意事項

- 1) 本製品は、軸直角変位を吸収するためのものではなく、振動を吸収するためのものです。軸直角変位は考慮できないものとしてご使用下さい。
- 2) 配管の固定が不十分である場合、配管系が共振することがありますので、A・V・JOINTの近傍でしっかりと固定を行って下さい。
- 3) 配管の溶接作業は、フレキ取り付け前に施工して下さい。やむを得ず製品取り付け後に溶接や溶断をする場合は、溶接電流が流れないように、適正なアースをとり、製品に保護カバーを被せて下さい。

- 4) 管内流速(内径基準)が3m/secを超えない様に口径を選定して下さい。
- 5) 酸、アルカリ等については、ZTF-5000(フッ素樹脂製)をご使用下さい。

- 6) ポンプ廻りの吐出側については、レジューサ、製品、逆止弁、仕切弁の順に取り付けて下さい。

